

2

家にいるときに 大地震が 起こったら

(1) 家の中で危険なこと

地震の揺れで家屋が倒壊しない場合でも、家の中の住人が危険になる場合があります。あなたの家ではどのような危険があるか、写真を参考に考えて書いてください。また、危険の避け方も書きましょう。

場所	考えられる危険	危険の避け方
例) 自分の 部屋	窓ガラスが割れ、破片が飛び散る。固定されていない本棚が倒れてくる。	窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。本棚と壁をベルトや金具で固定する。



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市

話し合ってみよう!

平成30年度防災に関する県民意識調査(三重県)では、約46%の県民が家具類を固定していないとの結果がでました。危険が分かっているのに、なぜ対策が進まないのか話し合ってみましょう。

(2) 自分と家族を守るために

①大地震が発生すると、家の中では、次のような状況になることが考えられます。家族を守るために、あなたはどのような行動を取るべきでしょうか。

家の中の状況	取るべき行動
壁が変形し、祖母の部屋のドアが開かなくなった。祖母が中に閉じ込められている。	例) 祖母に声をかけ、安否を確認する。家族と協力してドアを壊し、祖母を救出する。避難の準備をする。
ストーブが倒れ、上に置いてあったやかんの湯がかかり、父が足に火傷を負っている。	
家中に割れたガラスや食器の破片が散らばっている。あちこちで家具が倒れ、歩行を妨げている。	
ほかに、どんな状況が考えられますか。書いてみましょう。	

②あなたの家からは、どこに避難すればよいでしょうか。また、避難するときに気をつけることは何でしょうか。

もし火災が発生したら…

- 火災の際には、一酸化炭素などの有毒ガスが発生するので、煙の中を避難する時は、ハンカチなどを口、鼻にあてて、できるだけ低い姿勢で避難する。
- お年寄りや子どもなど、避難行動要支援者の避難を優先する。
- いったん避難したら、家の中へは戻らない。
- 延焼のおそれがあるときは、公園などへ避難する。



消火器の使い方

- ①安全栓を引き抜く
- ②ホースをはずし、火元に向ける
- ③レバーを強くにぎる

消火器で消せるのは、天井や壁に広がらない規模の火までです。



対策

あらかじめ、あなたや家族が持ち出すべき非常用品は何か、考えて用意しておきましょう。避難場所や避難経路を、できれば複数、把握してください。